

平成28年度被災者支援総合交付金(第3回) 交付可能額(自治体別)

(千円)

	自治体名	交付可能額【国費】
1	岩手県	19,775
2	大槌町	32,106
3	福島県	282,746
自治体 計		334,627

(注) 計数は精査の結果、今後変動があり得る。

平成28年度被災者支援総合交付金（第3回）交付可能額（団体別）

「心の復興」事業

(千円)

No.	事業名	取組内容	提案団体名	対象地域	交付可能額
岩手県					
1	「希望と笑顔があふれるまち釜石」 新たなコミュニティづくり2016	閉じこもりがちな高齢者や被災者がつながりを持ち、だれもが安心して暮らせる、支え合い助け合いの地域をつくるため、地域リーダーを養成しながら、共同農園・住民交流会・CD製作等の交流の場や機会を創出し、地域住民一体となった新たなコミュニティ形成を目的に、市内3地区において実施する。	有限会社ウィルビー	釜石市	1,880
宮城県					
2	東松島市小野地区ふれあいサロン 支え合いプロジェクト	宮城県東松島市において、仮設から同市小野地区へ移った被災者の孤立防止と地域の多世代交流を目的に常設型のサロン(居場所)を開設する。 この多世代交流サロン(居場所)「ふれあいサロン」は、仮設住宅でサロン活動を行ってきた被災者グループ(にこにこクラブ)が中心になり、同地区の町づくり協議会、民生児童委員協議会、東松島市社協と連携・協働して開設、運営をする。	特定非営利活動法人 たすけあいの会ふれ あいネットまつど	東松島市	4,080
3	大切な人のためのメモリアルベンチ 製作事業	被災者自身が、震災によって亡くなった家族や友人の記憶、被災への思い、復興に託す希望などを祈念してメモリアルベンチを製作する。大切な記憶や思いを、地域の人々を楽しませ役に立つベンチというものに変換することで、被災者の喪失感を少しでも和らげ、まちづくりと地域活性化の参加に関心をもってもらう。	一般社団法人東松島 みらいとし機構	東松島市	5,990
4	被災者の心と体を元気にする『スマイル農園』プロジェクト	石巻市東部地区(渡波地域)の仮設住宅およびみなし仮設などに住む高齢者を中心に被災者が野菜作りなどを行うことで生きがいがつくりにつながる「心の健康回復」と無農薬の採れたて野菜を利用した弁当作りと高齢者への配食による「体の健康回復」、地域住民同士の交流の機会を提供し被災者の孤立防止と住民同士のコミュニケーションづくり、さらには子供たちへの安心安全な食材の提供と子育て中のお母さんたちの交流の場の創出、さらには地域コミュニティの再生を目的とし、渡波地区内の休耕地を活用し市民農園(スマイル農園)を開設し、有機野菜栽培等の指導を受けながら共に野菜作りを行う。	一般社団法人ワタマ スマイル	石巻市	3,320
5	南三陸特産品販売によるコミュニティ再生・地域活性化への支援事業	現在の地域産業の活性化と、さらなる発展と継続のための若年層の人材育成を行う。 南三陸町の水産物等の特産品の拡販を支援し、さらに収益の一部を他被災地へ寄付するチャリティーの仕組みを構築することで、生きがいがつくりや販売会等のイベントで世代間交流などのコミュニティ再生を行う。 更に、チャリティー活動を行うことにより、物販などの経済活動に参加しにくい低年齢層や高齢者層にも参加でき、精神的満足度の向上に寄与する。	一般社団法人PSJ	南三陸町 登米市	3,300

平成28年度被災者支援総合交付金（第3回）交付可能額（団体別）

「心の復興」事業

（千円）

No.	事業名	取組内容	提案団体名	対象地域	交付可能額
福島県					
6	震災以前の豊かな故郷の記憶を次世代に伝えるプロジェクト	震災以降の記憶しか持たない幼稚園児や若い世代のために、昔話を紙芝居で演じたり動画上映するなどして地域文化の記憶を手渡す活動とする。これらの目的のために、大学生達が仮設住宅のお年寄りと交流を重ねながら昔話を伺って紙芝居・動画を制作する。	国立大学法人筑波大学	南相馬市・および同市市民の避難先である県外の地域	3,800
7	飯舘村 までいな手仕事事業	着物地リメイク等の作品作りを行う。手を動かすこと、会ってお話をしながら小物づくりをすることによって気持ちを立て直し生きがいに繋げる。毎月1回～2回皆で集まり「までいな手仕事の会」として情報交換をしながら布物小物、伝統的な作業着や、裂織で作る草履などその時その時で考えをまとめ、講師の先生と相談しながら作業を行う。	一般財団法人 飯舘までい文化事業団	飯舘村 福島市	1,700
8	県外避難親子の居場所「ママCafé」ネットワークプロジェクト	住宅無償提供期限まで1年を切り、長期にわたる母子避難による離婚などで帰還する場所が福島県内になく、東京に定住する経済的な余裕もなく、来年度以降の動向を決められない避難母子も少なくない。一人ではとても解決できないようなさまざまな課題や不安を口に出して、心を開いて安心して過ごせる居場所「ママCafé」を定期的に東京・福島県・長野県で開催する。	特定非営利活動法人 こどもプロジェクト	東京都内 福島市 郡山市 白河市 いわき市 南相馬市 二本松市 長野県上田市	3,600

平成28年度被災者支援総合交付金（第3回）交付可能額（団体別）

「心の復興」事業

（千円）

No.	事業名	取組内容	提案団体名	対象地域	交付可能額
被災三県での広域的な取組					
9	手作り製品製作・販売による生きがい作りとコミュニティー維持	仮設住宅、集会所、みなし仮設等にて手作り製品製作を実施する。活動継続の為に、品質の良い製品を製作することが不可欠であり、現地でのスキルアップを図る。また新たな参加者を募る講習会を実施する。販路拡充の為に、首都圏など販売イベントに参加し、また広報活動、WEB上での商品を可能とするHPの充実を図る。また製品に作り手直筆のメッセージカードを添え購入者と被災者の繋がりを深める。	一般社団法人あむえこねっと	福島県相馬市、宮城県石巻市、神奈川県川崎市	2,550
10	ものづくりで心の復興応援プログラム	被災地で新たに形成されたコミュニティや首都圏などで「ものづくり講習会」を開催、誰にでも楽しめる講習内容で、広範な年代層の参加を促し世代間交流を図るとともに、被災地での引きこもりや孤独死を未然に防ぐ。被災地外では、ものづくり講習会や作品展を開催、被災者と参加者の交流により、被災体験など参加者の気持ちにダイレクトに訴えかけることで、東日本大震災自体の風化防止効果を高めるとともに、被災者が自信を持って活動を進められるようにする。	ふんばろうものづくりプロジェクト	宮城県（石巻市）、福島県（新地町、会津若松市）、首都圏（加須市、中野区）	2,590
11	アートでくらしにうらおいを”サインアート”プロジェクト	アートを通じて被災した日常のくらしにうらおいと活力を住民の皆さまと共に生み出すプロジェクトを実施する。	くらしのある家プロジェクト実行委員会	福島県、宮城県、岩手県	7,230
12	学生・住民協働による被災地の支え合うコミュニティ形成支援	東北大学等で学生ボランティアを募集し、仮設住宅および災害公営住宅でのケアと、各住宅周辺の地域住民と協働したコミュニティ形成支援を行う。	東北大学スクラム（東日本大震災学生ボランティア支援室 学生スタッフチーム）	岩手県陸前高田市、福島県いわき市、宮城県石巻市・仙台市	4,880
被災三県外での取組					
13	東日本大震災広域避難者 心の軌跡アーカイブ事業	関西地方の避難者が、震災後の生活を振り返り、心の整理をする機会を作る。避難者・帰還者・帰還予定者が交流する場を設け、それぞれの思いを共有する場づくりをする。そして、心を集めて本を出版する。	一般社団法人みんなの手	京都府 大阪府 滋賀県 奈良県 兵庫県 福島県	4,570

合計 49,490